Dialogs, Dividers

components.pdf p122~155



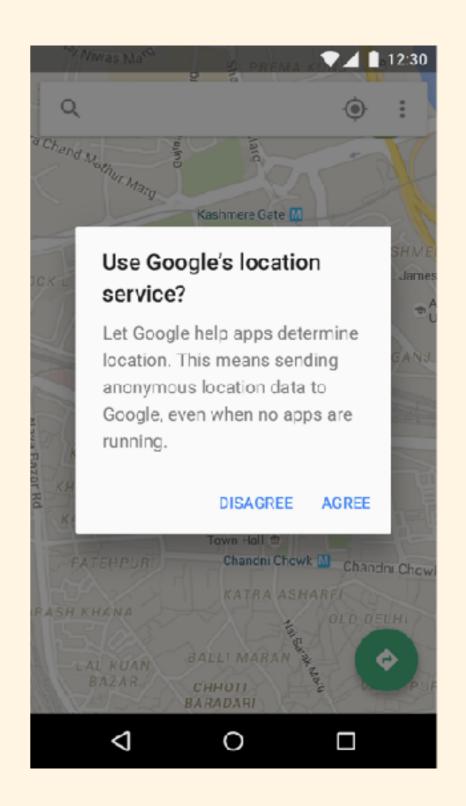
@ara_tack

components.pdf p122~155

ダイアログ (Dialogs)

• ディバイダー (Dividers)

- 特定のタスクに重点を置いた テキストやUIコントロールを 含む
- ユーザーに重要な情報を知らせたり、決定を下すように求めたりする
- 複数のタスクに関わることも ある



- 標準のマテリアルシステムダイアログ
- ・標準以外のダイアログ (ここでは扱わない)
 - 購入フロー用のブランドボタン
 - 非標準UIのフォーム
 - 固有のレイアウト

大きな妨げにならないようにする

・現在のタスクを中断するので、控えめに

• 代替手段:メニュー、インライン展開

ダイアログを目立たせる

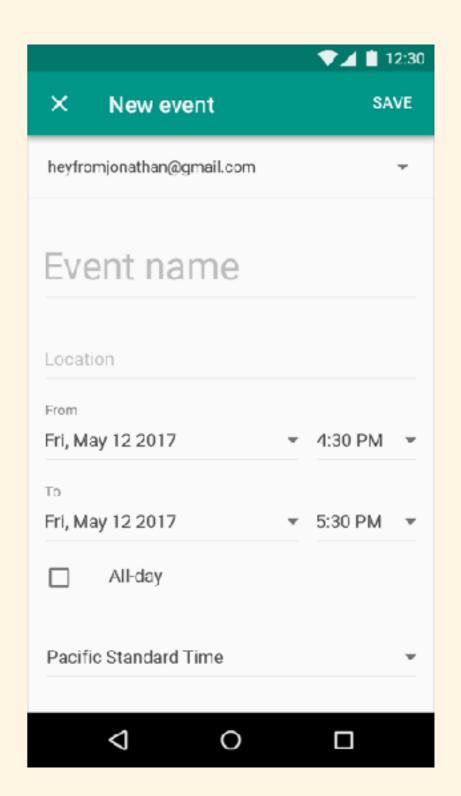
- ・他の要素で覆い隠したり、画面上に一部分のみ表示させたりはNG
- 非表示にされるか必要な操作が行われるまで、常にフォーカスが保持される

避けるべきこと

- ダイアログ内からダイアログを開く
- スクロールするコンテンツを含める

全画面ダイアログの例外

- 追加のダイアログを開 くことができる
- アプリで認識されるZ深度や視覚的なノイズを増やしにくい

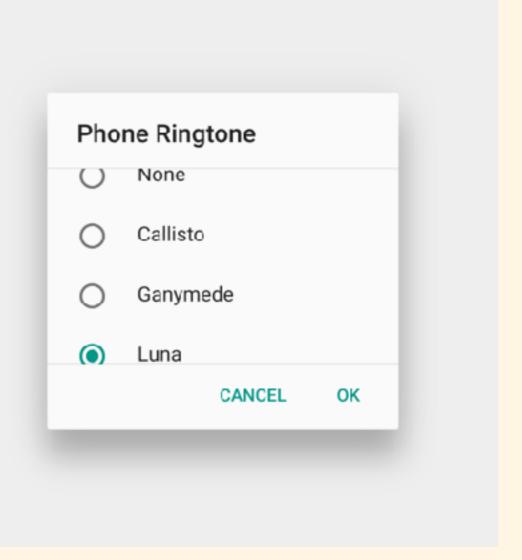


スクロール可能なコンテンツの例外

- 選択肢のスクロール可能なリストを表示するときはタイトルが一番上に固定される。これにより、どの位置の選択肢を選んでもタイトルと一緒に見られる
- それ以外の場合、タイトルはコンテンツと一緒にスクロールする。アクション(OKボタンなど)は常に定位置

スクロール可能なコンテンツ

例)着信音リスト



追加のコンテンツを表示する

- インライン展開を利用
- 大規模なコンテンツ向けに最適化された代替コンポーネントを検討する

ダイアログを非表示にする

- ダイアログの外側をタップまたはクリックするか、システム(Android)の戻るボタンで非表示にできる
- いずれかの選択肢が選ばれるように、ダイアログの非表示をさせないことも可能

Dialogs 種類

- ・アラート
- シンプルメニュー (代替コンポーネント)
- ・シンプルダイアログ
- 確認ダイアログ
- 全画面ダイアログ

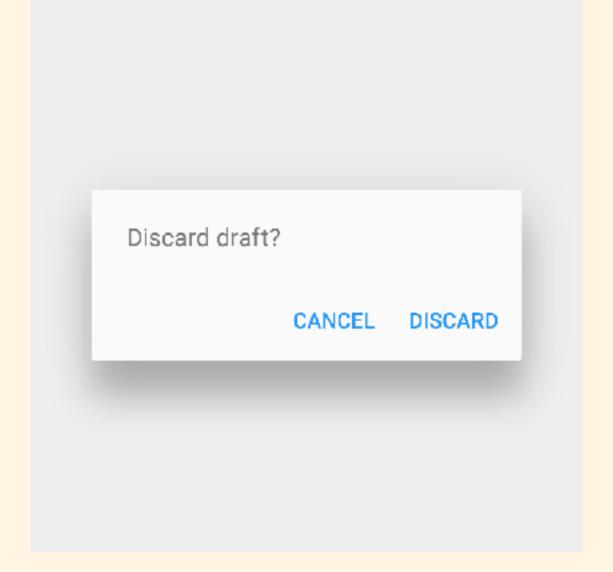
Dialogs アラート

- 緊急に中断を生じさせてユーザーに状況を知らせる
- 承認を必要とする
- ・スナックバーとの違い:スナックバーは操作 後の補助的な情報&直前の操作を元に戻せる

アラート:タイトルバーなし

使い方

- 質問をする
- ・操作ボタンに関連する記述を作成する



アラート:タイトルバーなし

適切な例

- 肯定的に答える「破棄 (Discard)」
- 否定的に答える「キャンセル (Cancel)」
- 決定によって何が起こる かが明確

Discard draft?

CANCEL DISCARD

アラート:タイトルバーなし

不適切な例

- No, Yes で否定か肯 定かを答える
- 決定によって何が 起こるかが明確で はない



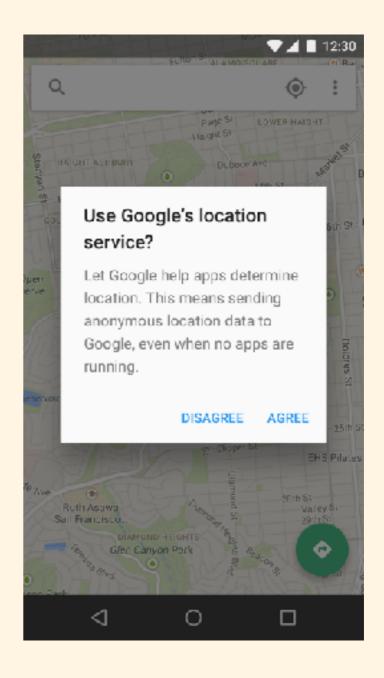
アラート:タイトルバー付き

- リスクが高い状況(接続が切断される可能性 がある場合など)で利用
- タイトルとボタンのテキストだけでも選択肢が理解できるようにする

アラート:タイトルバー付き

適切な例

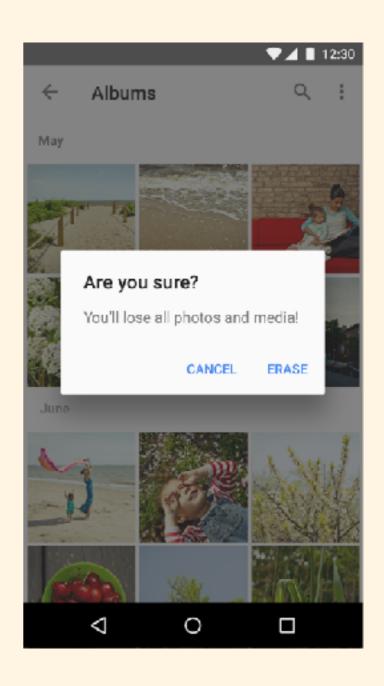
- 具体的な質問を投げかけている
- ・ 生じる影響を簡潔に説明している
- 明確なアクションを提示している



アラート:タイトルバー付き

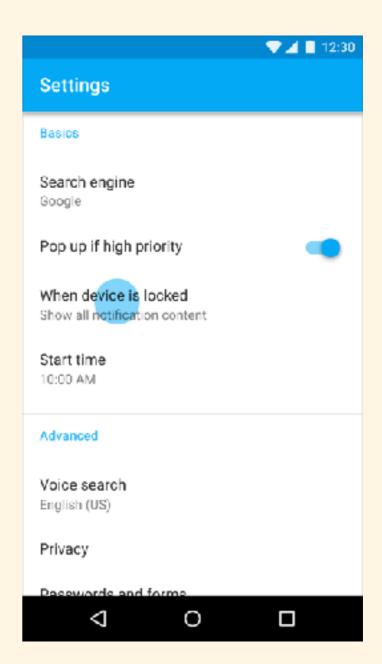
不適切な例

- タイトルの質問が曖昧 である
- どのような影響が生じるかも不明(画像が消えると明記していない)



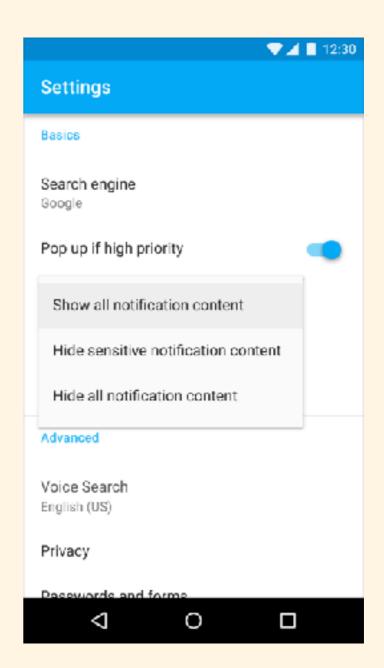
Dialogs シンプルメニュー

- リスト形式で選択肢を表示する
- 選択肢をタップする とすぐに選択が確定 される



Dialogs シンプルメニュー

- リスト形式で選択肢を表示する
- 選択肢をタップする とすぐに選択が確定 される



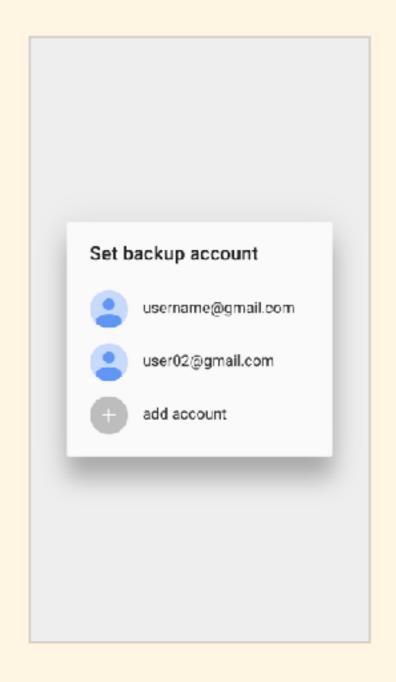
Dialogs シンプルメニュー

シンプルダイアログとの違い

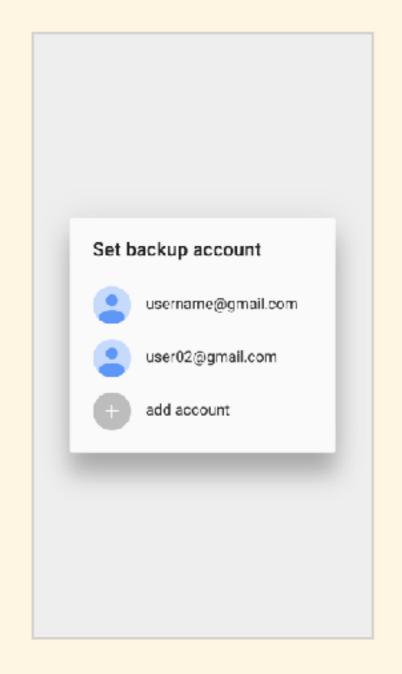
- シンプルダイアログもシンプルメニューと同じコンテンツを表示できる
- ダイアログはリストアイテムについて詳しいオプションを表示したり、関連アクションを提示できる
- メニューの方がコンテキストの妨げにはならない

リストアイテムについて追加の情報やアクションを提供できる

例) アバター、アイ コン、説明用のサブ テキスト、関連性の ないアクション



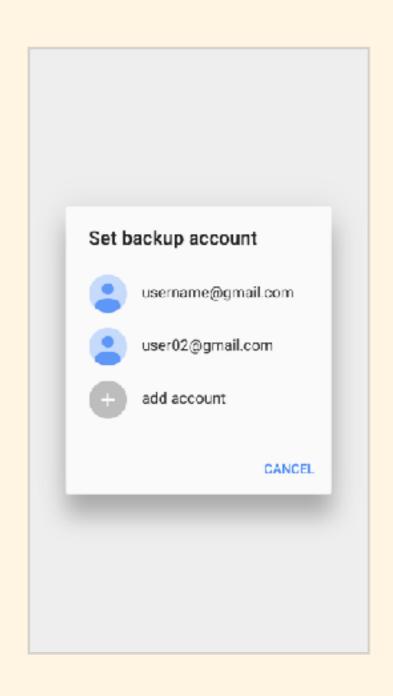
- ・選択肢を選ぶと直ち にその選択肢に確定 されて閉じる
- ダイアログの外をタップするか戻るボタンを押すと操作がキャンセルされて閉じる



明示的なキャンセルボタ ンなし

操作を承認したりキャンセルしたりする明示的なボタンを使用しない

• 右の画像は不適切な例



仕様

- 画面の中央に垂直かつ水平に表示する
- 画面の端までの距離は、左右40dp以上、上下 24dp以上
- コンテンツの位置はダイアログの端から24dp

仕樣

- 行の高さは変えることができる
- テキストの折り返し ができる(シンプル メニューでは不可)

Title goes here

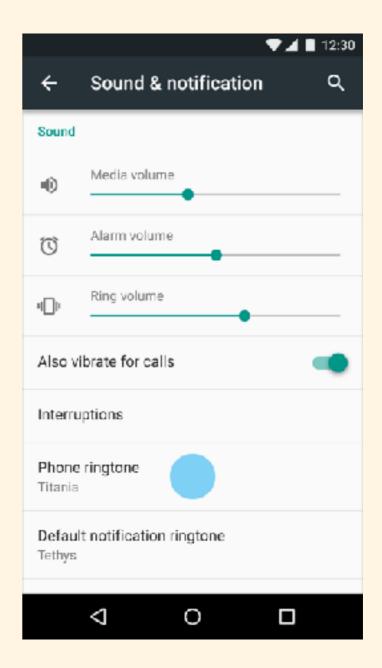
Single line text goes here

Two line wrapped text goes here making it wrap to next line

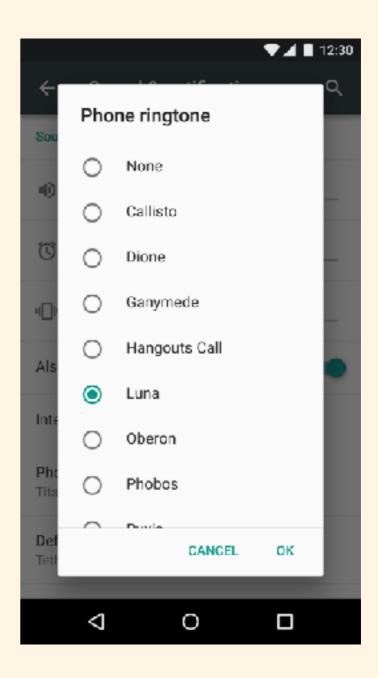
Single line text goes here

Three line wrapped text goes here making it wrap to next line and continues longer to be here

- ・ 選択内容を明示的に確認 するよう求める
- OKをタップすると選択される
- キャンセルをタップする か戻るボタンを押すと、 変更内容が破棄されて閉 じる



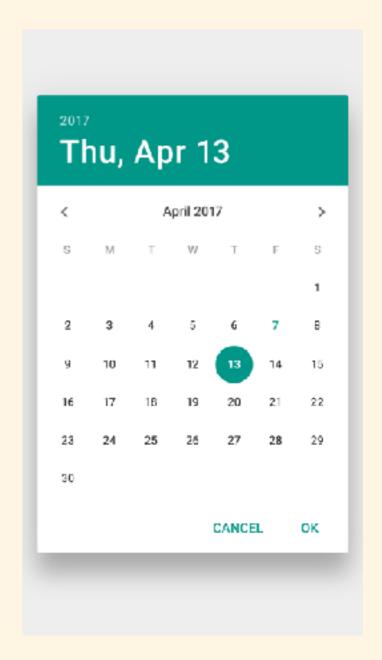
- ・ 選択内容を明示的に確認 するよう求める
- OKをタップすると選択される
- キャンセルをタップする か戻るボタンを押すと、 変更内容が破棄されて閉 じる



単一の値を確認する

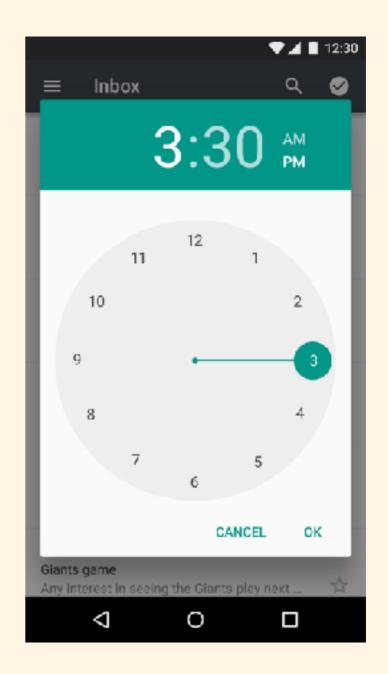
- リスト以外のレイアウト も使用可能
- あくまで単一の値を選択 することが目的

例)時間と日付ではなく、 日付のみ選択



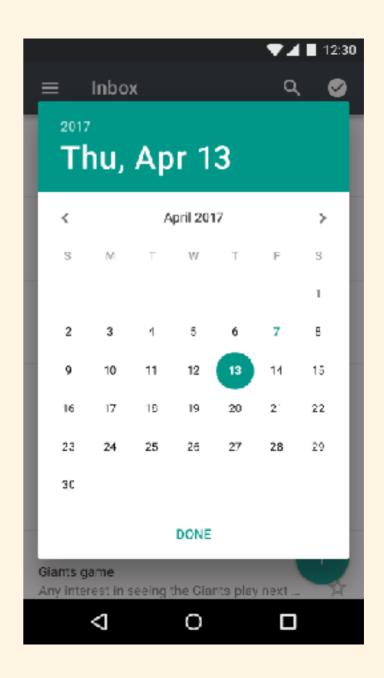
キャンセルボタンと確認ボ タン

- 明示的な確認ボタン、キャンセルボタンを提供する
- キャンセルボタンか戻る ボタンをタップ、ダイア ログを終了すると変更内 容が破棄される



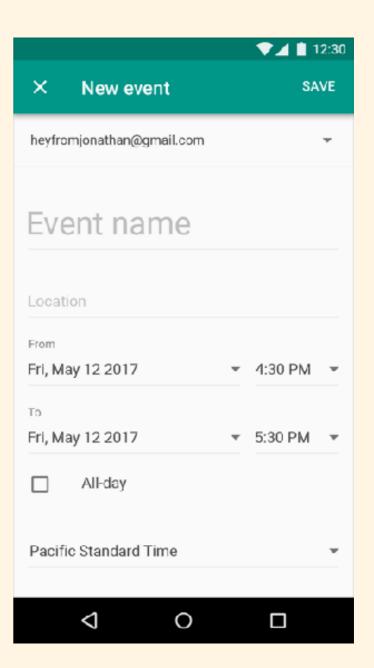
不適切な例

- ダイアログのボタンが 1つだけ
- システムの戻るボタン がキャンセルなのか確 認なのか曖昧になる



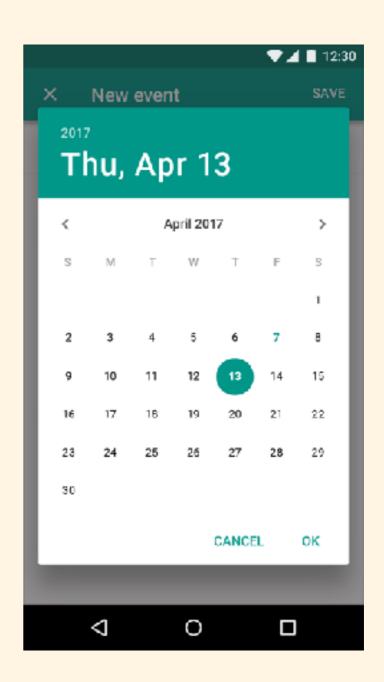
全画面ダイアログ

- モバイル端末のみ
- 一連のタスクが確定するまでの手順または破棄されるまでの手順が1つにまとめられる
- [保存] タップで保存。[X]タップで変更内容が破棄されて閉じる



全画面ダイアログ

- 複雑なレイアウトが可能
- アプリで認識される高度を一時的に高めのベースラインにセットし直すことができる
- シンプルメニューやシン プルダイアログを起動で きる



全画面ダイアログ

次のいずれかの条件を満たせば利用可能:

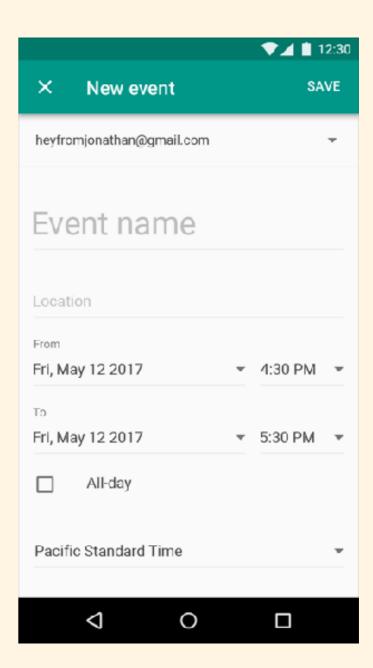
- キーボードのようなIMEを必要とするコンポーネント(選択 ツールやフォーム欄など)が含まれている
- 変更内容がリアルタイムで保存されない
- アプリに下書き機能がない場合
- 一括操作を行う場合や変更内容を送信する前にキューを入れる場合

全画面ダイアログ

アクションは画面上部

• 確認

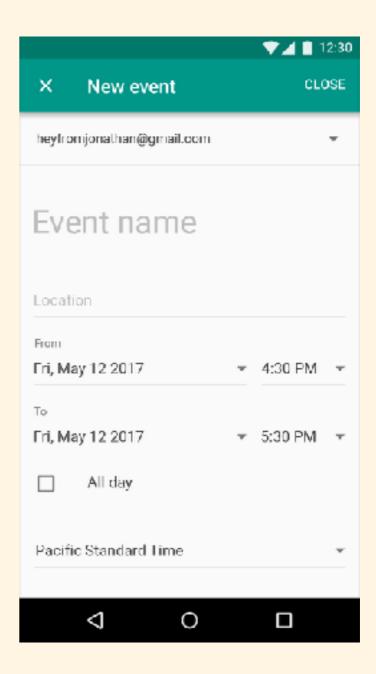
• 否定的なアクション



全画面ダイアログ

確認

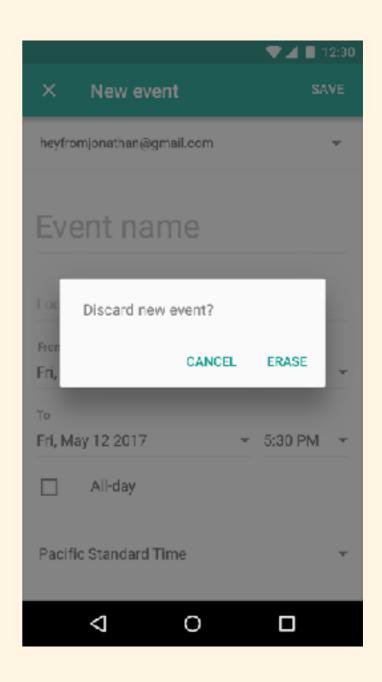
- 画面の右上に確認のアクションを配置
- 説明的な動詞を使用
- 右図のような曖昧な表現は使 用しない
- ダイアログ内の必須項目がすべて満たされるまで無効



全画面ダイアログ

破棄

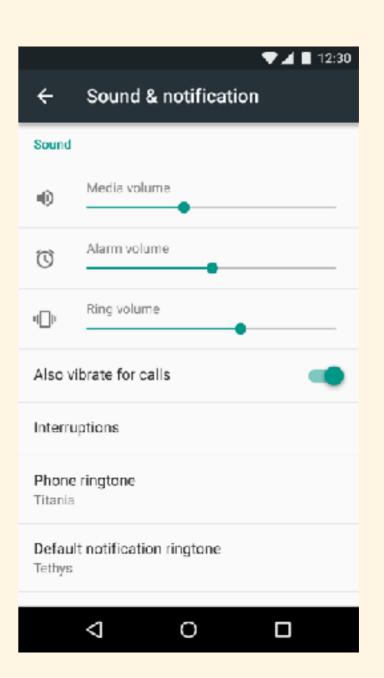
- 破棄のアクション(画面の左上にある[x])か戻るボタンでダイアログを閉じて変更を破棄する
- 変更がない場合は閉じるだけ
- 変更がある場合は、アクションの確認をする



全画面ダイアログ

ナビゲーション

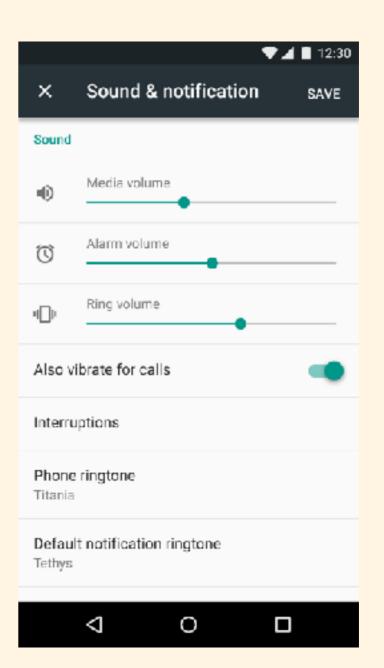
- 上矢印 (up arrow)は、変更内容が直ちに確定されることを示す
- [X]は、変更内容がすべて破棄される



全画面ダイアログ

ナビゲーション

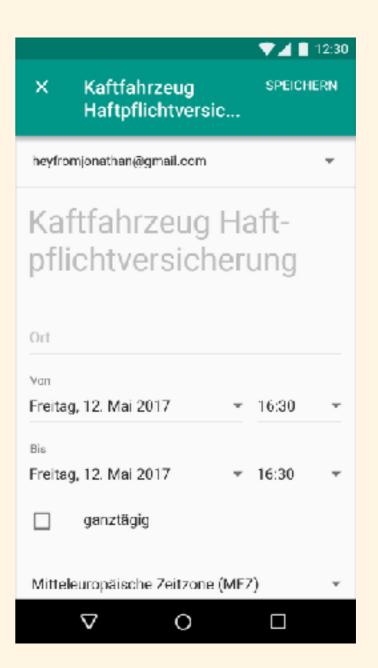
- 上矢印 (up arrow)は、変更内容が直ちに確定されることを示す
- [X] は、変更内容がすべて破棄される



全画面ダイアログ

タイトル

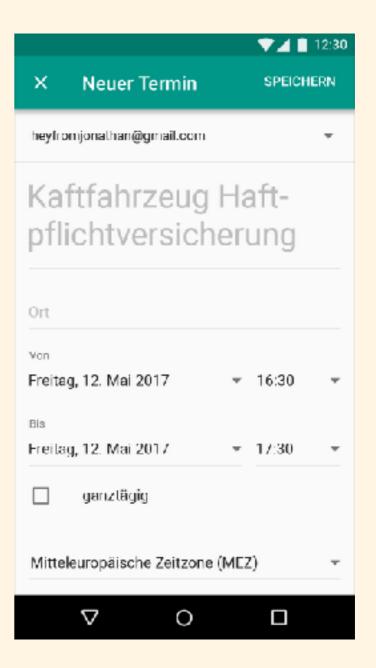
- ・動的文字を使用しない (右図は不適切な例)
- (静的文字の場合)必要に応じて2行目まで 利用できる



Dialogs 全画面ダイアログ

コンテンツエリアにタ イトルを配置

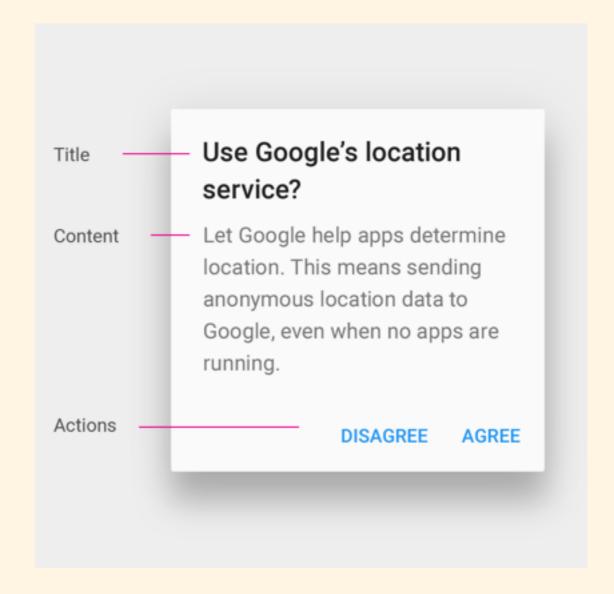
- 動的文字(可変長)
- ・ 異なる言語で特定の 単語が長くなる場合



• 省略可能なタイトル

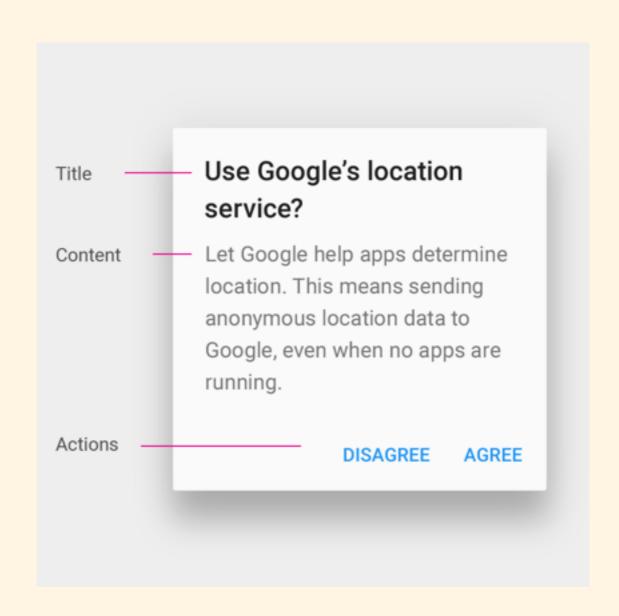
・コンテンツ

・アクション



省略可能なタイトル

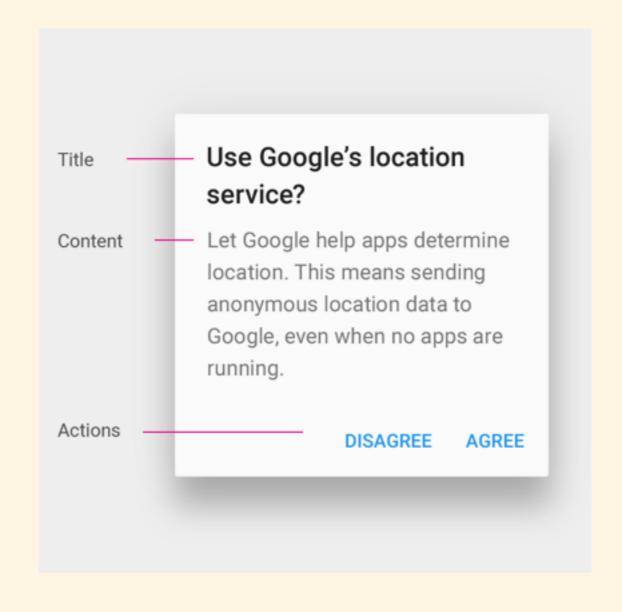
- どのような選択が行われるかを簡単に説明する
- 常に全体を表示する
- 必要な場合にのみ使用 する



Dialogs 仕樣

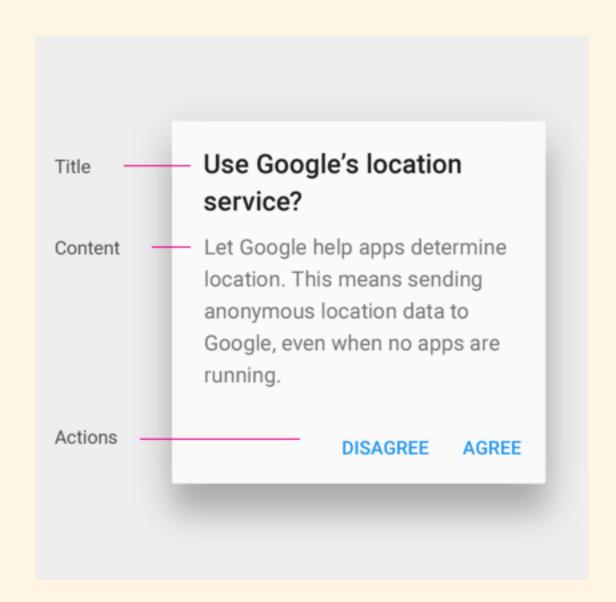
コンテンツ

- テキストやUIコント ロール要素
- 特定のタスク(確認、 選択など)に重点を 置く



アクション

- 肯定的なアクションは右側
- 否定的なアクションは肯 定の左隣
- テキストラベルは具体的 な動作



承認のアクション

コンテンツをユーザーが承認する必要がある 場合、アクション1つのアラートを使う

・控えめに使用する

• インライン展開などの別の方法も検討する

アクションの数

- 3つ以上のアクションを含めない(選択が未確 定のまま離れさせない)
- 詳細情報はインライン展開で表示する、またはダイアログ表示前に提供する

「詳細」を押すと未確定のまま離れてしまう

Use Google's location service?

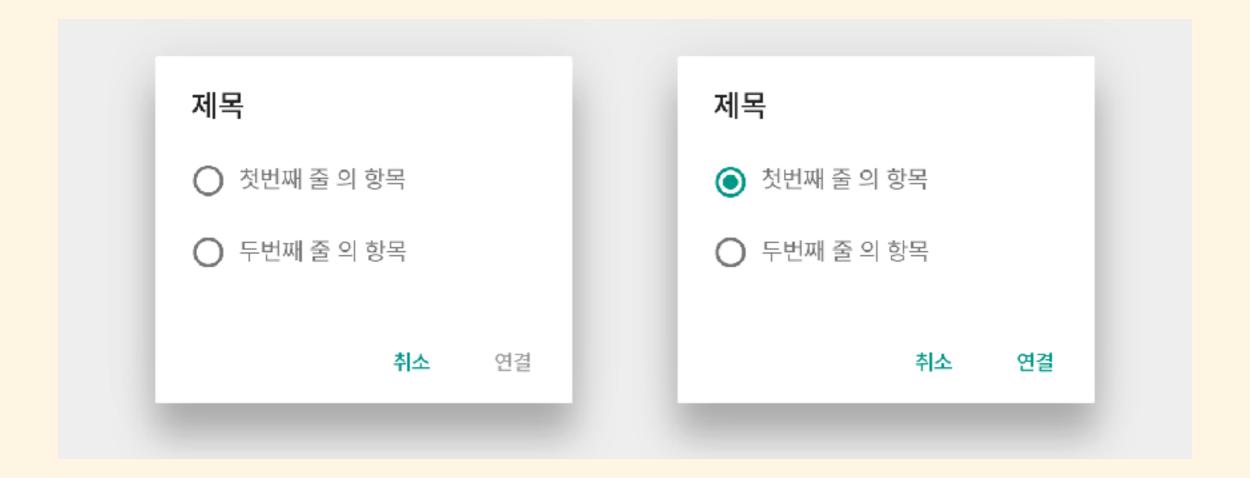
Let Google help apps determine location. This means sending anonymous location data to Google, even when no apps are running.

LEARN MORE DISAGREE AGREE

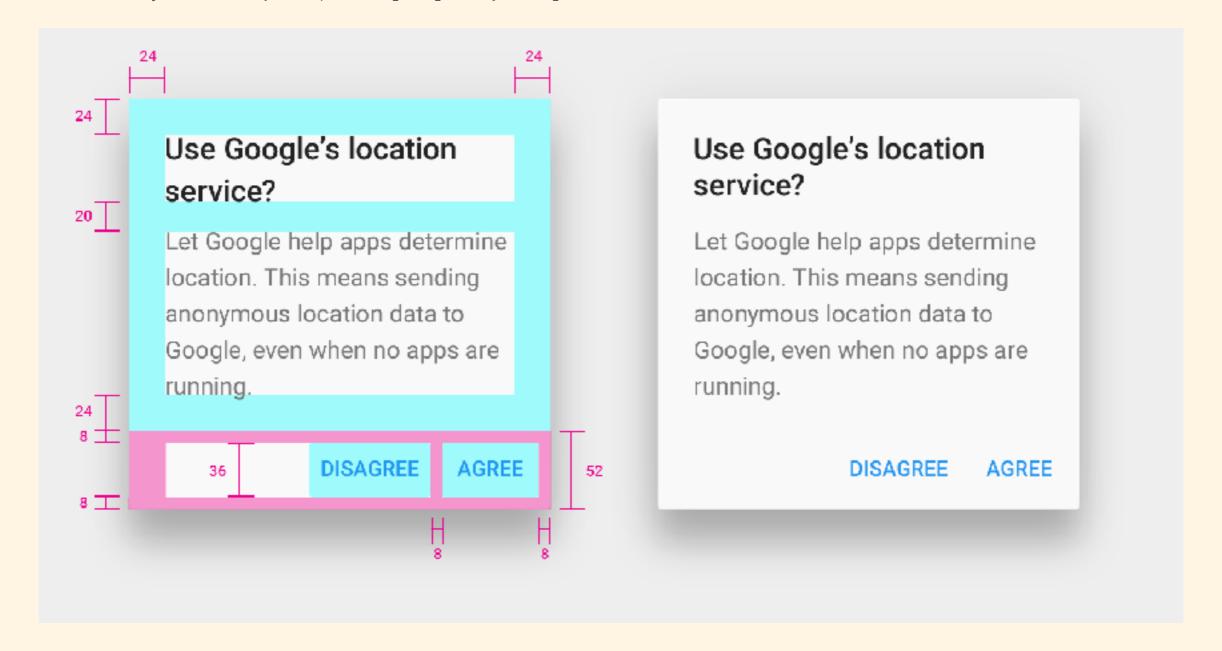
大文字の存在しない言語

- 中国語、日本語、韓国語など
- 一貫性のある配置、間隔、カラー
- 有効な時だけ色をつける

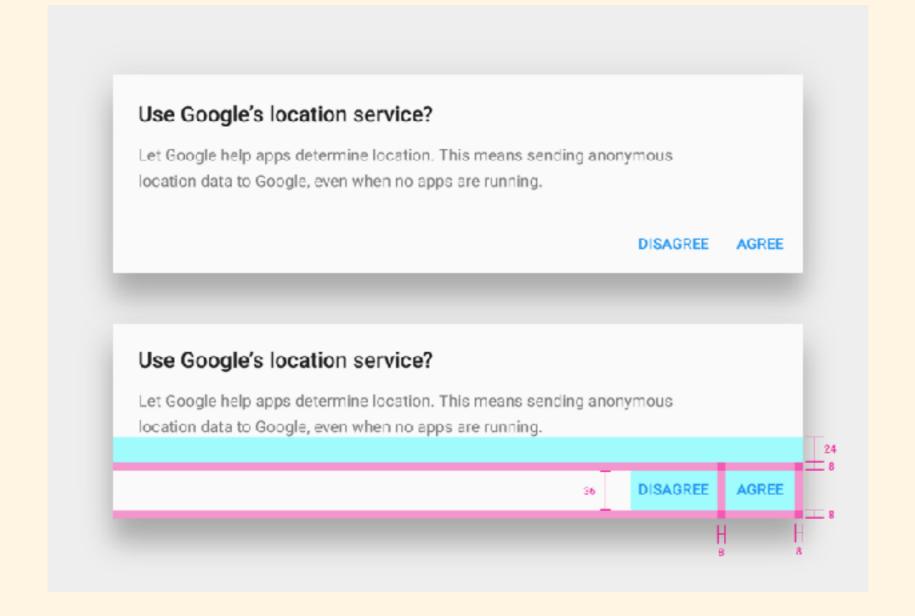
例) 韓国語



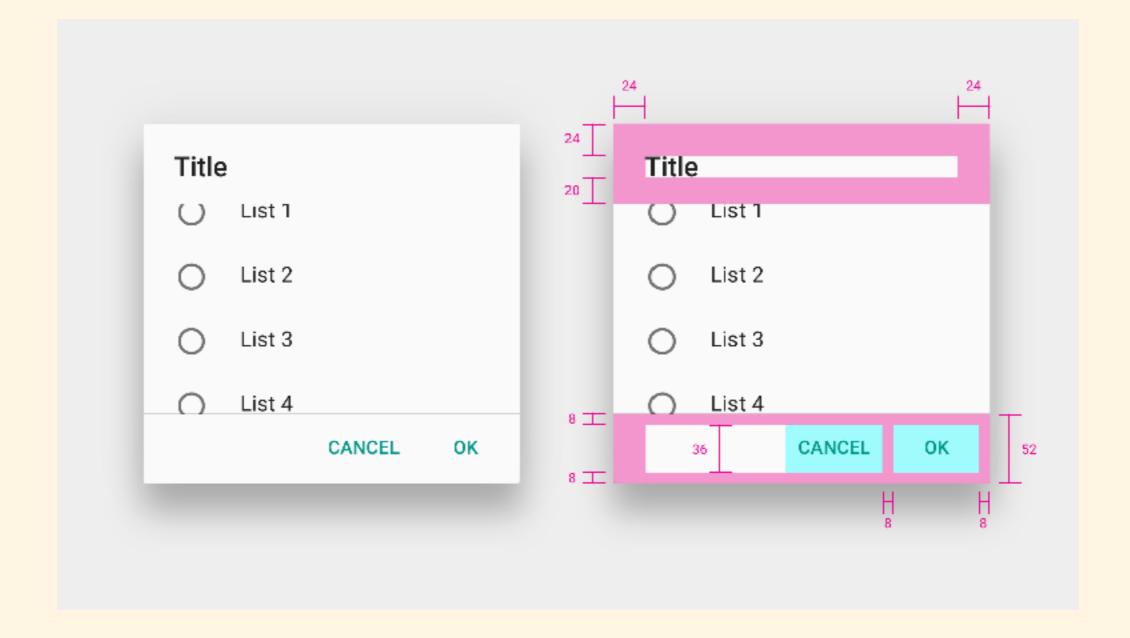
コンテンツ ガイドライン



コンテンツの下のパディング24dp

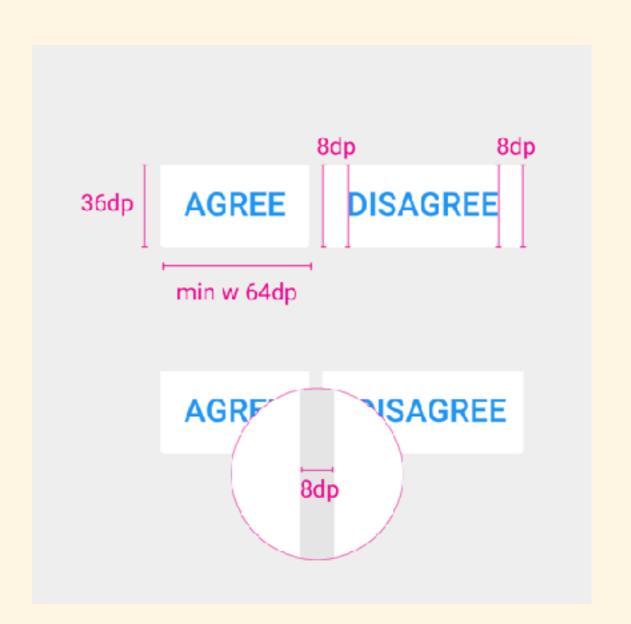


スクロールした状態のダイアログ

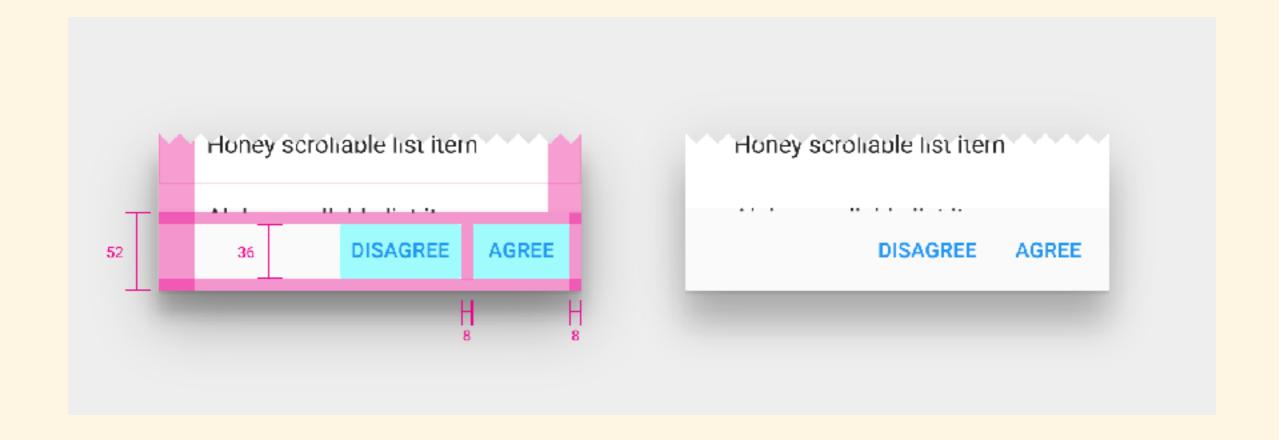


ボタンの幅とパディング

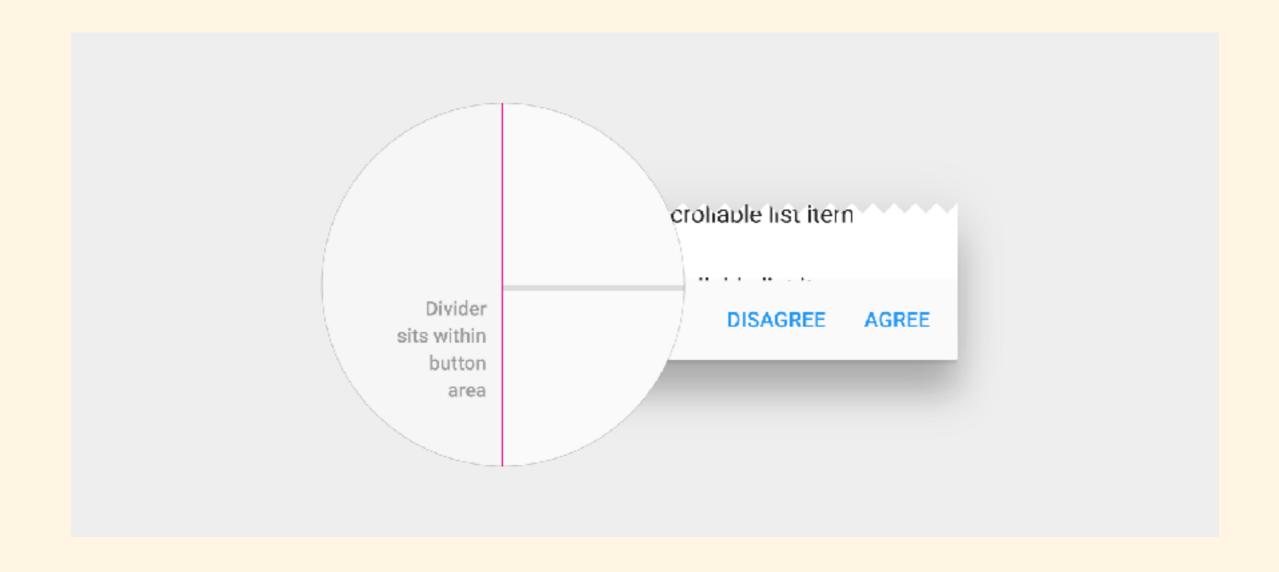
- 高さ 36dp
- 最小幅 64dp
- 内側のパディング 8dp
- ボタン間のパディング 8dp



ボタンエリアの高さ52dp



スクロール状態ではストロークで区切る



基本的にボタンは隣り合わせ

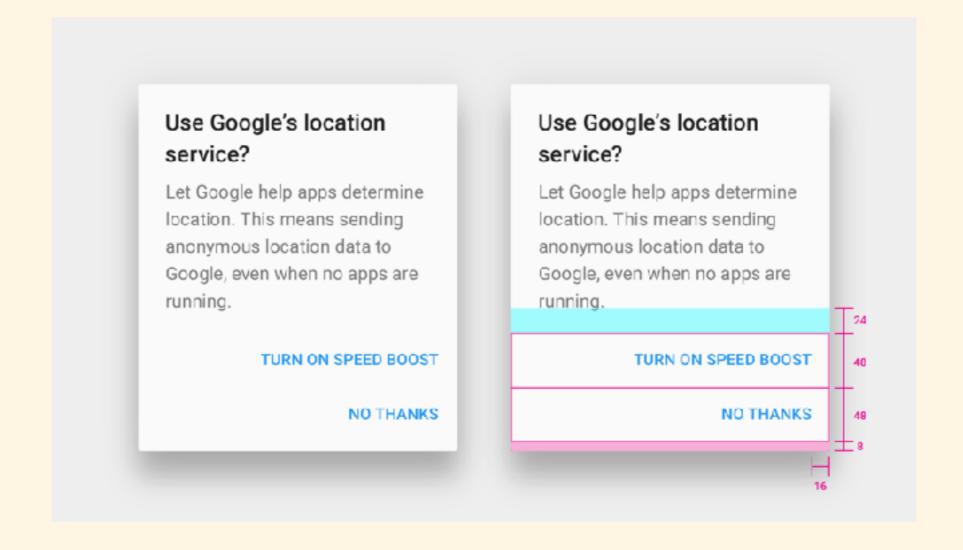
Use Google's location service?

Let Google help apps determine location. This means sending anonymous location data to Google, even when no apps are running.

BUTTON TEXT1 BUTTON TEXT2

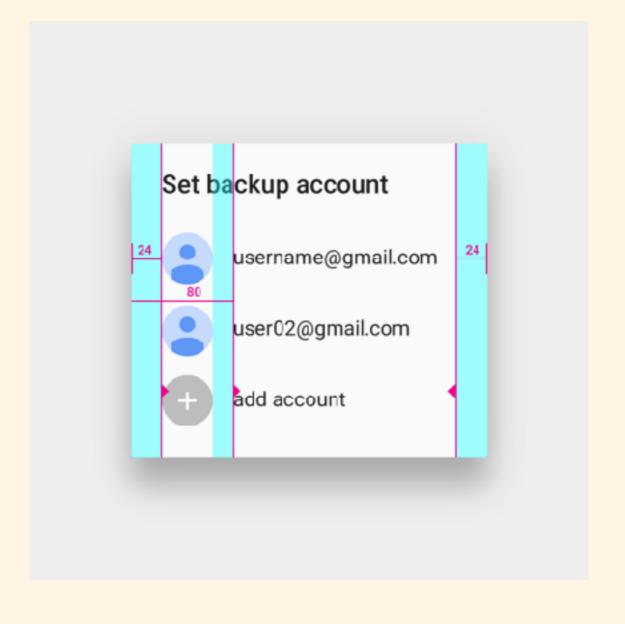
Use Google's location service? Let Google help apps determine location. This means sending anonymous location data to Google, even when no apps are running. BUTTON TEXT1 BUTTON TEXT2 36

テキストラベルが最大幅を超える場合は縦

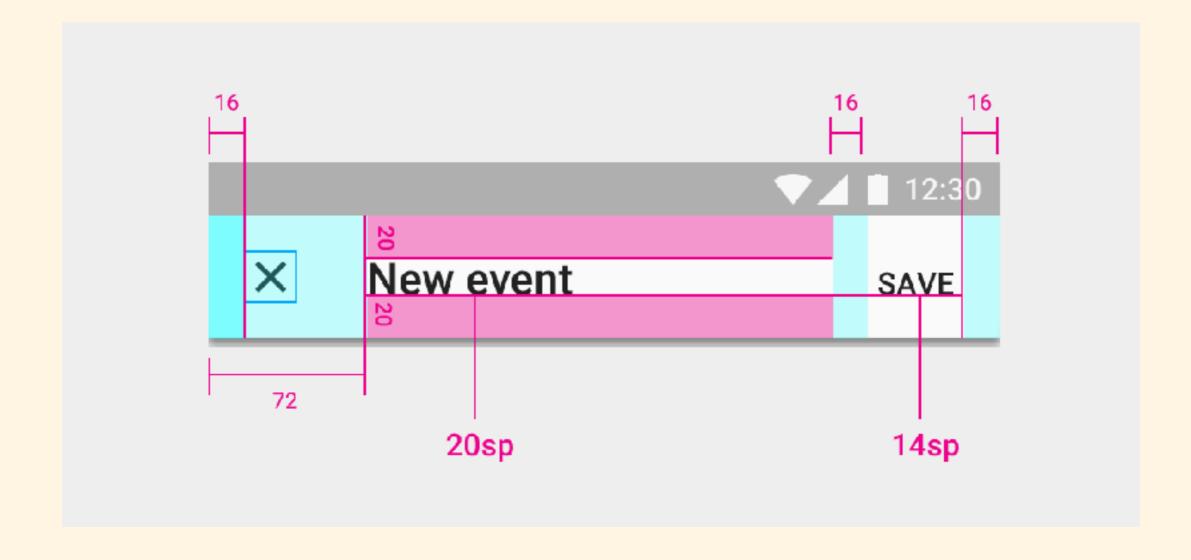


キーライン

- 左右の端から24dp
- アイコンやアバター に関連づけられたコンテンツは左端から 80dp



全画面ダイアログのタイトル



サブタイトル Dividers

> デバイダーを使うと、リスト内のコンテンツやページレイアウトを区切ってグループ化することができます。デバイダーは細くて色の薄い罫線ですが、視覚的にも空間的にもコンテンツを区別できる十分な効果があります。

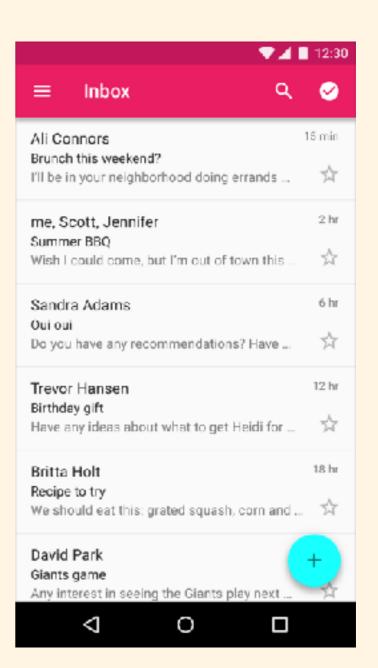
Dividers デバイダーの種類

- フルブリードデバイダー
- ・インセットデバイダー
- サブヘッダーとデバイダー

デバイダーの種類

フルブリードデバイダー

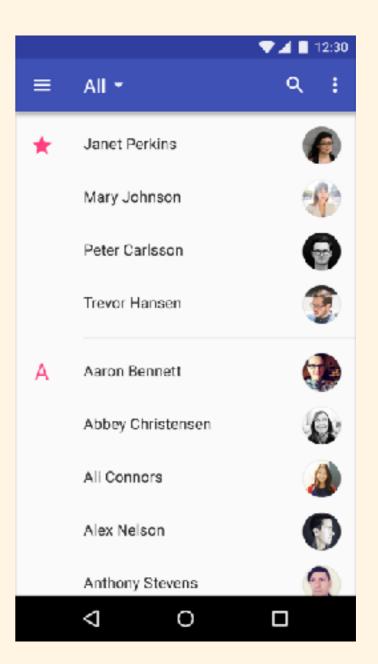
- 明らかに異なるコンテンツを区切る
- マテリアルが展開する 場合のシームも示せる (線が動くことで動き が認識できる?)



デバイダーの種類

インセットデバイダー

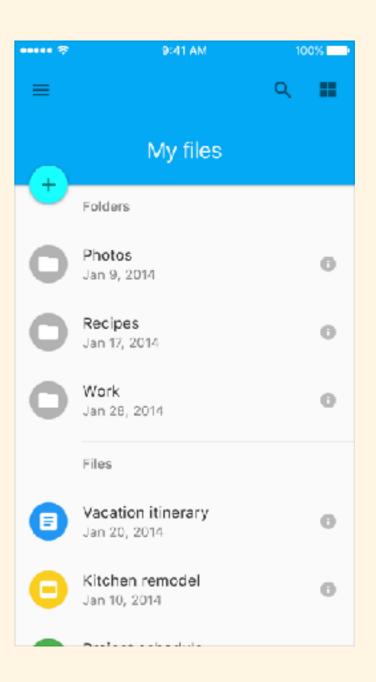
- 同類のコンテンツはインセットデバイダーで 区切る
- アイコンやアバターなどのアンカー要素と組み合わせる



デバイダーの種類

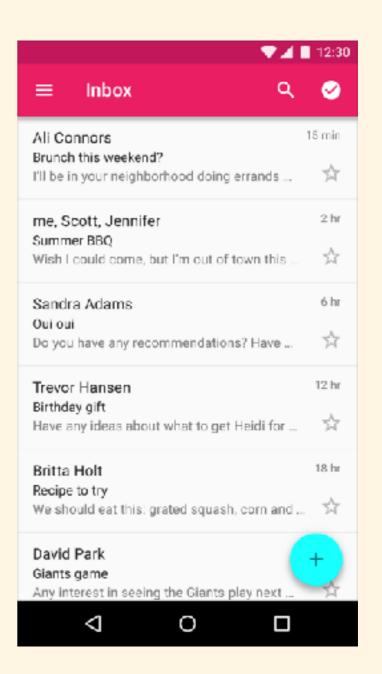
サブヘッダーとデバイダー

- サブヘッダーとコンテ ンツの関連性を強める 必要がある
- デバイダーをサブヘッダー の上に配置する



アンカーのない項目

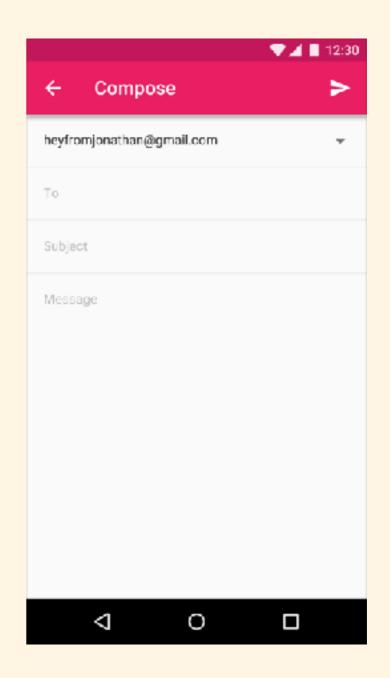
- アバターやアイコンな どのアンカーがないも の
- フルブリードデバイダー を使用すると個々の項 目を区別しやすくなる



使用方法

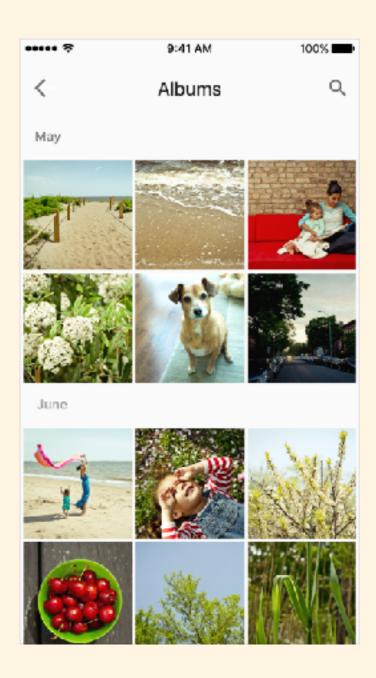
アンカーのない項目

- アバターやアイコンな どのアンカーがないも の
- フルブリードデバイダー を使用すると個々の項 目を区別しやすくなる



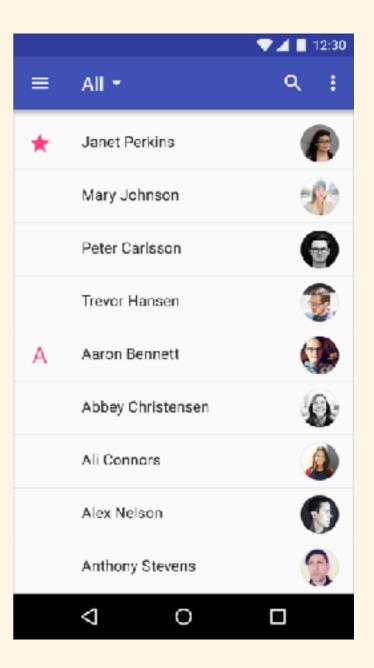
画像ベースのコンテンツ

- デバイダーは不要
- ・余白とサブヘッダー でセクションが区切 られる



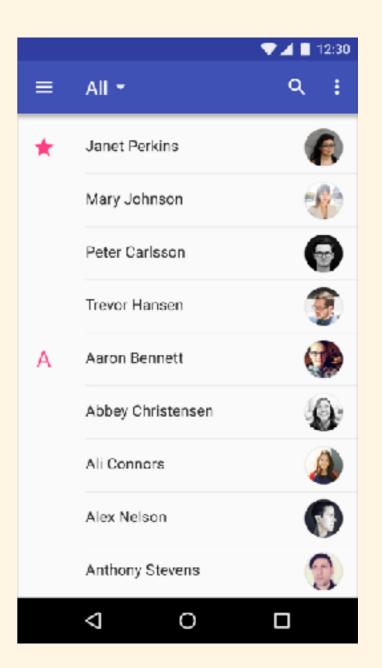
多用しない

- 見た目が煩雑になる
- インセットなら少し マシ
- ・適切な量が良い



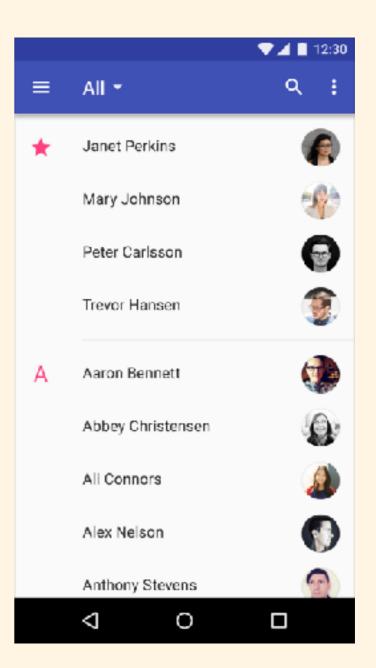
多用しない

- ・見た目が煩雑になる
- インセットなら少し マシ
- ・適切な量が良い



多用しない

- ・見た目が煩雑になる
- インセットなら少し マシ
- ・適切な量が良い



Dividers 仕様

• ブラックかホワイト

• 透明度12%

幅は1dp

コンテンツタイルの 下端に沿って配置

